

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービスげんき広場

支援プログラム

作成日

2025年

5月

1日

法人（事業所）理念		児童発達支援 げんき広場ではその子らしさを尊重し、「明るく・げんき」をテーマに障害児童の療育を行ってまいります。家庭や学校以外で交流できる機会を増やし、集団生活への適応や、地域の中での生活が継続できるように様々な体験を通して、基本的知識や技能を取得し、その発達や成長を促すために適切な支援を行います。						
支援方針		人との関わりを通して、少しずつ「出来る」を増やしていくことで、自分のことは自分で決められる様に支援していきます。						
営業時間		平日	9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし
		土・祝 長期休暇	8時	30分	17時	30分		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	手洗いを励行し、こまめな水分補給をして、心身の健康に努めます。 調理体験を通して、食の拡充を目指します。 外食体験を通して、公共の場でのマナーを学びます。						
	運動・感覚	公園での活動を通して、体の動かし方、ボディイメージを付けるサポートを行います。鉄棒やトランポリンは室内でも行います。 粘土やスライム、新聞紙などを使って感覚遊びを行います。 段ボールや厚紙、廃材などを使用し、指先のトレーニングを行います。						
	認知・行動	ホワイトボードに一日の流れを記載し、見通しを立てて行動できるように促します。また、1週間の予定も併記することで、長期的な視点で見られる様に支援をします。 長期休みについては、1週間の予定を事前に配布・掲示することで、安心して活動に参加できるようにします。 特性に応じたプリントを用意することで、オン（にぎやかに活動する時間）とオフ（静かに活動する時間）の区別を身に着けます。						
	言語 コミュニケーション	写真や絵カードを使用することで、自分の気持ちを相手に伝えられるようにします。 専門的支援員の個別プログラムで、物の貸し借りなど生活上必要なやり取りを学ぶ機会を作ります。						
	人間関係 社会性	外食体験にて、公共の場でのマナーを学びます。 専門的支援員による集団プログラムで、ルールや順番などを学び、円滑に活動できるように必要なやり取りを学びます。						
家族支援		定期的な面談（オンラインを含む）を実施する事で本人意向、家族意向を確認しています。 送迎時に細かな変化を報告し、必要に応じて支援内容の共有を図っています。			移行支援		事業所での様子、学校での様子を送迎時や学校を訪問することで情報共有をし、支援内容の見直しを定期的に行っています。	
地域支援・地域連携		地域のイベントや講座に参加することで、障害の有無に関わらない人との関わりを学びます。			職員の質の向上		毎朝のミーティングで今日の活動内容について共有し、支援内容の変更や支援方法の検討を行います。 外部研修への参加を積極的に行っています。	
主な行事等		4月田植え体験、進級祝い 5月保護者会実施 6月避難訓練 7月災害協定の避難訓練 8月夏休みは県内外の公共施設や工場見学にお出かけ 9月避難訓練 10月お芋掘り、引き渡し訓練、ハロウィン 11月県民の日はみかも山へ 12月クリスマス、大掃除、焼肉パーティ 1月初詣、お正月遊び 2月節分 3月ひなまつり、イースター その他、毎月お誕生日会実施						